



センター NEWS

Wakayama
International
Exchange
Center
News

2019年12月発行



ブラジル和歌山県人会創立65周年記念式典に出席



第2次世界大戦前に和歌山県から世界へと出ていった移民は延べ3万1000人、戦後移民は約2千人に上る。1908年笠戸丸到着の8年後、和歌山からブラジルへとやってきた移民は約1600世帯6000人と推定される。

相当数におよぶ和歌山県からの移民ではあるものの1954年4月8日の和歌山県人会設立後、入会したのはわずか500世帯にとどまった。

それぞれの世帯代表者から構成された。全員和歌山県出身者の移民一世であった。



「ブラジル日本移民百十周年から抜粋」

目次

- P2~P3 ブラジル和歌山県人会創立65周年記念式典に出席して
- P4 グローバルセミナー
シンチャオ! ~ ベトナムを知ろう~
- P5 日中交流奨学事業イベントから
和歌山県内の国際交流活動
- ドイツ語文化講座から
和歌山県庁国際課から
- P6 ! Hi Hai Hola こんにちは!
- P7 わかやまJICAボランティア応援団の活動から
- P8 WIXAS コーナー



URL : <http://www.wak-kokusai.jp>

ブラジル和歌山県人会創立65周年記念式典出席して

公益財団法人和歌山県国際交流協会 事務局長 出口 博之

1 はじめに



南米への旅はもちろん今回が初めてである。
片道30時間の行程は、それだけで躊躇するのに十分な距離である。
センターのスタッフは、面白可笑しく犯罪発生率の高さ（リオの凶悪犯罪発生率は日本の千倍とのこと）や危険性を吹聴してくれるし、—— 勿論それ以上の魅力も教えてくれたが、櫻畑理事長の随員として、ブラジル・ペルー出張が決まってから、泥縄で日系移民や当該地の勉強を開始した。和歌山県中南米交流協会の眞砂代表や、わかやま南北アメリカ協会の迫間代表から、さまざまな情報をご教示いただくとともに、神戸市の「海外移住と文化の交流センター」や横浜市の「海外移住資料館」等へも出向き、日系移民に対する経緯や歴史を学んでいった。

2 日程概要

日程は、令和元年9月19日(木)から26日(木)までの8日間、リマとサンパウロへの訪問であった。

その主目的は、在伯和歌山県人会創立65周年記念事業への出席である。併せて、ペルー及びブラジル県人会関係者との交流を深め、母県和歌山と日系社会とのあり方や、在外商工会議所やJICA事務所などの意見交換を通じて当協会の立ち位置を考えるということである。

訪問先・公式行事は以下のとおり。

≪ペルー：リマ市≫

1. ペルー日系人協会
2. ペルー日本人移住資料館
3. ペルー和歌山県人会役員等との夕食会・昼食会

≪ブラジル：サンパウロ市≫

4. ブラジル和歌山県人会創立65周年記念式典出席
5. 浄土宗日伯寺別院南米本部
6. ブラジル和歌山県人会との夕食会・昼食会
7. ブラジル日本商工会議所訪問
8. 国際協力機構（JICA）ブラジル事務所訪問



短期間に、これらの訪問をこなすのはハードスケジュールだったが、リマでは、ペルー和歌山県人会のネッダ・ボネリ・サカタ会長が、サンパウロでは、ブラジル和歌山県人会の谷口・ジョゼー・眞一郎会長が、それぞれアテンドしてくださったので、非常にスムーズに日程をこなすことができた。

以下、それぞれの国で印象に残ったいくつかの訪問先について述べてみたい。

3 ペルー：リマ市

(1) ペルー日系人協会

ペルー日系人協会は、1917年のペルー中央日本人会の設立から100年を越える長い歴史を持ち、日系人の教育及び社会的地位の向上や、日系人の厚生福祉増進・相互扶助・困窮者の救済、日・ペルー間の文化交流と親善関係の促進、日系子弟への育英事業など多方面にわたって貢献している。

昨年は、和歌山県人ペルー移住110周年記念式典があり、和歌山県から下副知事、藤山県議会議員等が出席したが、当協会理事長が出席できなかったため、今般表敬訪問をおこなった。幹事長の伊是名アントニオ氏を筆頭に9名の協会関係者が出席され、それぞれの挨拶後、伊是名幹事長と櫻畑理事長との間で意見交換および記念品交換をおこなった。

日本人や日系人はペルーでも誠実で信用のおける人々として尊敬を勝ち得ており、日系人学校への入学生も非日系人割合が50%を上回っているとのことであった。それほど、ペルーの人たちの日本や日本文化に対する興味が大きいということだろう。また、日系人は子弟の教育に熱心であり、故郷を遠く離れて異国に根を下ろして生活する人の気持ちはより「純化」され、相互扶助・助け合いの気持ちと日本文化や伝統を熱心に学ぶということにつながっていると感じた。

(2) ペルー日本人移住資料館 (APJ)

ペルー日系人協会と同じ日秘文化会館内にあり、表敬訪問終了後そのまま資料館へ。解説は、JICAボランティアとしてペルーに派遣されている大野さんがしてくださった。

移住資料館は、日本人移住80周年を記念して1981年にオープン。1世紀にわたる日本人移民の歴史を、日本語パネルや展示物を使って詳しく紹介してくださった。アジア人が、カムチャッカ半島を経て南米まで下ってきた説など、古代からのペルー史も併せて解説している。2010年10月に日本政府援助の「文化コミュニティ事業支援制度」を利用し、リニューアルオープンされた。



展示室は時代毎に8つセクションに分かれており、1899年佐倉丸で始まった日本人移住者の異国での暮らしぶりから、労働契約により農村で暮らしていた日本人が次第に都市部へ進出する様子、第二次世界大戦でアメリカ強制収容所に送られる等の不幸な歴史、第二次大戦後のペルーのさまざまな分野で活躍する日系人、1980年代に始まった「デカセギ」日本への逆移住が社会的・経済的にインパクトを与えたこと、移住110周年や今後に向けた日秘の関係強化等について順次説明していただいた。

また、「移住資料デジタルネットワーク化プロジェクト (JICA支援)」により1899年~1941年の「ペルー日本人移民データベース」が整備されており、自分の祖先がどのような経緯でペルーに来たのかをデジタル上で見えるようにするなど、日秘のソフト面での協力事業も確認できた。

(3) ペルー和歌山県人会役員等との「夕食会」と「昼食会」

夕食は、『La Huaca Pucllana Restaurant』というワカ・プクヤーナ遺跡に隣接したレストランでネッタ会長ご夫妻他10名の方が歓待してくださった。白ぶどうが原料で卵白、レモン果汁、砂糖などが加えられた「ピスコサワー」や、紫トウモロコシの「チチャモラーダ」や「インカコーラ」を飲みながら、ペルー料理を堪能。「クイ」というアンデスの人々が古来より家畜としている食用のモルモットなどもいただいた。そこで榎畑理事長とネッタ会長との間で記念品の交換をおこなった。

昼食は、『La Rosa Náutica』という太平洋に突き出た栈橋上の海上レストランで、「セビーチェ」はもちろん、エビ、イカ、タコなどのシーフードを堪能した。さすがに南米随一のグルメ大国といわれる国である。今回のペルー・ブラジル訪問では、和歌山からいろいろなお土産を持参したが、個人にお渡しした品物で一番喜んでもらったのは、きれいにラッピングした「東京オリンピックの記念コイン」であった。記念コインをお土産に持っていくという発想は交流協会のスタッフから出されたもので、これはヒット商品であった。ただ、これら100セットに及ぶコイン詰め合わせは、アメリカでの入国審査の際、金属探知引っかかり、一つ一つ全部袋から出されてチェックされたのには参ったが。 つづく……

この続きは次号の国際交流センターNEWSでご紹介します。

グローバルセミナーの実施

和歌山県国際交流センターでは、本県在住外国人等の協力を得て、県民の方々に出会いと交流の場を提供し、世界には多様なことばや文化があることを体験していただくとともに、また在住外国人が同じ地域に住む住民であるという意識をもっていただくことを目的にグローバルセミナーを開催しました。

2019/8/18 開催

インターナショナルカフェ

こんにちは
【 Xin chào! シンチャオ! ~ベトナムを知ろう~】

このベトナムイベントでは、ゲストスピーカーのグエン・ティ・トゥイ・ニューさんにベトナムについて紹介していただき、さらに参加者の皆さんにベトナム春巻きやベトナムコーヒー、ベトナムのお菓子を試食していただきました。ゲスト演奏者のフィン・タイン・フエンさんによるベトナム音楽の演奏もあり、ベトナムをたくさん感じていただけたイベントとなりました。多くの和歌山県在住ベトナム人の方々や在住外国人の方々も参加し、交流され、これを機に和歌山県内での国際交流がさらに盛んになることを願います。

★イベント企画から、当日の進行まで
してくださったニューさんよりメッセージ★

初めて、国際交流センターさんと一緒にイベントを企画し、多くの参加者の方々に来ていただき、とても感動しました。これからも両国のためにベトナム人、日本人ともに助け合っていきましょう！よろしくお願いします(^)

ゲストスピーカー
ニューさん



~ちょこっと
ベトナム語~

カンオン

Cám ơn

ありがとう

タンビエト

Tạm biệt

さようなら

ベトナム音楽の演奏
フエンさん



交流会の様子

～日中交流奨学事業イベント～

「三大産地の中国烏龍茶を飲み比べる」

9月29日(日)和歌山県国際交流センターで、森崎雅樹氏を講師に迎え、「武夷山」、「安溪」、「潮州」三大産地の烏龍茶をテーマに興味深いお話をいただきました。

中国茶の奥深さに触れながら、高級茶芸師 津田美起子氏が淹茶してくださった8種類の烏龍茶を飲み比べました。爽やかな蘭の花のような香りのお茶や重厚で香ばしいお茶など、本場中国烏龍茶のバリエーションをじっくり味わうことができました。



講師：森崎 雅樹 氏
合同会社ティームメディア
コーポレーション代表、
高級評茶員



和歌山県内の国際交流活動

このコーナーでは和歌山県内で国際交流活動を行っている国際交流団体、グループ、そして行政の活動を紹介していきます。



ドイツ語文化講座

「やさしいドイツ語文化講座」（毎週土曜開催）は、2011年4月に発足した「ドイツ語文化交流会」（代表：田島昭洋、大阪市立大学ドイツ語講師）が運営するセンターボランティア事業です。世界には実にさまざまな言語・文化がありますが、その中でドイツ語に焦点を当て、アットホームな雰囲気の中、ネイティブとの簡単な会話をとおして国際交流を進めています。

講座で毎回取り上げるテーマは主に担当者（田島）が選びますが、ネイティブは日本語と日本文化に通じるハンブルク大学日本語科の学生（大阪市立大学交換留学生）ですので、ドイツと日本の文化（食、音楽、都市、人物等々）の紹介にもとても積極的です。会員（受講生）は大学生から年金受給者までと幅広く、職業や関心もさまざまですが、そうした多様性がまた創造的刺激となって講座を盛り上げ生産的な活動にしてくれていると実感しています。

2014年には有志で異文化を体感するドイツ語圏スタディツアーを実施しましたが、またそのうちそうした体験ツアーができればと思っています。2018年12月にはセンターとの共催事業で「本場ドイツのクリスマス会～しっとりした聖歌による～」を開催し、広く一般のかたにもドイツの文化を紹介させていただきました。



文：田島 昭洋



和歌山県庁国際課だより

和歌山県・山東省友好提携 35周年

和歌山県と中国山東省は1984年4月に友好提携を締結し、35周年を迎えます。これを記念して、10月15日から、和歌山県知事が団長となる記念訪問団（総勢159名）が山東省を訪問し、劉家義（りゅうかぎ）山東省書記と35周年記念会談を実施しました。

同会談において、①高齢者・医療、②農業、③海洋経済、④文化・観光、⑤人的交流の5分野で相互の交流をより一層深めていくことが確認されました。

また、仁坂知事は、同時開催された「山東国際友好都市大会（33か国115都市が参加）」に出席し、スマート時代における和歌山県の取組みを紹介するとともに、急速な高齢化への対応が喫緊の課題となっている同省の求めに応じ「高齢者施設交流フォーラム（高齢施設関係者約120名が参加）」を開催し、日本の介護保険制度について講演を行いました。同フォーラムでは竹中県老人福祉施設協議会会長が、自身が運営する施設についての紹介を行った他、参加者同士の意見交換等が行われました。なお、別会場では、観光セミナーや企業商談会が開催されており、訪中した県内事業者19社が参加し、積極的に事業紹介・交流が行われました。



! Hi Hai Hola こんにちは!



わかやまけん (和歌山県) の ことを しりましょう!

このコーナーでは和歌山県にす(住)んでいるがいこくじん(外国人)のかたによ(読)んでいただくために「やさしいにほんご(日本語)」でか(書)いています。和歌山県のことをもっとしてください。

★にほん(日本)に き(来)たら・・・
さいしょに 日本語を ベんきょう(勉強)しましょう。

★きんようび: おはようクラス(10:30~12:00)

★どようび : わがっこ(こ)どもの 日本語 きょうしつ
(ごごから 勉強 します。)

★にちようび: もっとにほんごクラス(10:30~12:00)
: いっしょに にほんご(14:00~)

日本語の クラスについて たくさん しりたい人は
わかやまけんこくさいこうりゅうセンター(和歌山県国際交流センター)に
でんわ(電話)を してください。(TEL: 073-435-5240)



「Let's Study BOSAI」をしました!



11月10日、にちようび(日曜日)に たくさん
がいこくじんの方が こくさいこうりゅうセンター(国
際交流センター)に き(来)ました。

この日は わかやまちほうきしょうだい(和歌山地方気
象台)などの せんもんかの方が じしん(地震)や つ
なみ(津波)、 たいふう(台風)が 来たときに
どうするか おしえてくれました。

そして 地震や 津波、台風が きたときに
どこから じょうほう(情報)を きくか おしえてくれ
ました。これは NHKわかやまほうそうきょく
(和歌山放送局)と WIXASが いっしょに しまし
た。

あなたが すんでいるばしょ(場所)で 地震や 津波、
台風でこまったら WIXASに でんわ(電話)
(TEL: 073-435-5240) してください。

にげてください、じぶんの いのちは じぶんで まもりましょう。

ぼうさい ワンポイント レッスン

★さいがいじの ピクトグラム



ひなんじょ



うけつけ



がいこくごで
おしらせが あります



ちょこっと かんこうち!

わかやまし(和歌山市)にわかやまじょう(和歌山城)があります。

和歌山城の中にもみじだにていえん(紅葉溪庭園)があります。

ふゆ(冬)になるとにわ(庭)の紅葉があか(赤)くなります。

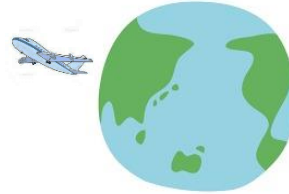
とてもうつ(美)しいにわ(庭)です。

(写真撮影: 中谷泰久)





応援団通信



<http://www.wakajicavo.com/>

わかやまJICAボランティア応援団は平成25年4月9日に設立した団体です。
このセンターNEWS第44号から当応援団の活動を紹介していきますのでよろしくお願いします。

● JICA海外協力隊の令和元年度第1次隊が和歌山県庁を表敬訪問



令和元年7月2日（火）

和歌山県庁を表敬訪問したのは、ネパールに野菜栽培で派遣される澤田照子さん（前列向かって右）、そしてラオスで看護師として活動し、7月に帰国した細田実香さん（前列向かって左）です。

澤田さんはネパールのラチャップ郡マンタリ農業普及センターに配属され、農民への農業普及を目的に各市町村に配置されている農業普及者と協力しながら農業技術指導、病虫害対策、研修の企画運営、種子の配布等の業務を通じて農民の生活活動に対する支援を行います。任期は2年。7月初旬に出発しました。

● 協力隊ナビ+（プラス）～わたしたち、海外協力隊に行って人生豊かになりました～を開催！ 9月14日（土）

「いつか海外に行ってみたいな」と思っているがなかなかその一歩が踏み出せないという方。JICA海外協力隊に参加した方からホンネの話を聞いていただき、応募をするときの悩み、参加する前のキモチ、現地での活動や生活のコト、帰国してからの人生について、JICA海外協力隊のOVが語り部となってみなさんにお伝えしました。



パソコン無しでパソコン教育！
保育士から一転！
ガーナで青少年活動という職種で力を発揮した、楠原英莉さん



フィリピンに残した英文の指導書。
県庁から現職参加制度でフィリピンに食品加工を指導した獣医師 森田 翠さん

任国では隊員同士、帰国したら家族。
ウガンダでコミュニティ開発と小学校教諭に関わった 田中良さん・さくらさん



地域おこしのマインドでキルギスとすさみ町で活躍！
休学して青少年活動隊員になった石田裕貴さん



熟練したスキルで確かな貢献！
病院を退職し、ラオスで看護師として活躍した 細田実香さん



定年退職して、いざチャレンジ！！
シニアとしてフィジーの廃棄物処理要請に応えた元行政マン 松下精二さん



WIXASコーナー



WIXAS
SINCE1990

Wakayama International Exchange Association

賛助会員様の国際交流活動

佐藤 真理 様からの活動ご紹介

WIXASでは、2010年よりボランティア登録を始め、国際交流のイベントなどのお手伝いをしています。いまは、Skippy English Timeの主宰として英会話レッスンをしており、2016年からは、歌や絵本の読み聞かせ、フォニックスを取り入れた幼児・小学生を対象にしたクラス、親子の英語サークル活動をしています。また、2017年より大人の初級英会話「英会話カフェ」をネイティブの先生と担当し、いままでに、延べ約1500人の方々にご参加いただいています。

英語が話せる、ということだけでなく季節のイベントを通し異文化への理解を深めるための企画も開催しており、参加者に楽しんでいただいています。

これからも、英会話を学ぶことを通じて様々な文化や価値観を知り、より豊かな時間を過ごしていただけるようお手伝いをしていきたいと思っています。



～ WIXAS 賛助会員数 ～ (2019年10月31日現在)

個人会員数 23名 法人会員数 6法人 団体会員数 5団体

ご協力ありがとうございました!

◎公益財団法人和歌山県国際交流協会 (WIXAS) は 賛助会員を募集しています。

和歌山県内の各分野での国際交流活動、国際相互理解及び国際協力を促進するとともに、在住外国人への支援を推進しています。ことは、民族、国境を越えて誰にでも開かれた地域社会づくりを図り、ひいては国際社会の平和と発展に寄与することを目的に活動しています。

ぜひ当協会の活動にご賛同ください。

《賛助会員》会費 個人 3,000 円/年、団体 10,000 円/年、
法人 30,000 円/年

★特典★：イベントのご案内/情報誌の配布など

公益財団法人和歌山県国際交流協会

〒640-8319 和歌山市手平 2-1-2 和歌山ビッグ愛 9F

TEL : 073-423-5717 FAX : 073-435-5243

URL: <http://www.wixas.or.jp>



和歌山県国際交流センター

〒640-8319

和歌山市手平 2-1-2 和歌山ビッグ愛 8F

TEL: 073-435-5240 FAX: 073-435-5243

開館時間:

水曜日・祝日を除く 毎日 10:00~18:30

URL: <http://www.wak-kokusai.jp>